



受賞部門

長時間労働削減取組部門

株式会社富士国際旅行社



取組内容

長時間労働削減への取り組み

【目的・理念】

- 時間外勤務の実態を全員が把握することで、自己管理の意識を持つことと、管理職者が業務バランスを考慮しながら仕事の配分を指導することで長時間労働を削減し、従業員の労働環境の向上および経費の抑制を目指している。
- 出退勤状況および時間外労働のデータ管理を行い、そのデータを社内で公開することにより長時間労働削減への意識づけを行っている。毎月の労使協議会の中で、長時間労働削減についての案を出し合うなど取り組んでいる。

1 管理データの作成

(1) 時間外労働データ

管理項目 ▶ 日ごとの時間外労働、深夜労働時間、法定残業時間、法定限度時間月ごとおよび年度内の時間と日数の累計残や1日平均の時間などをデータで管理。

A screenshot of a spreadsheet used for managing overtime data. The columns include dates, employee names, and various overtime categories such as regular overtime, night overtime, and statutory overtime. The data is organized in a grid format with multiple rows and columns.

(2) 出退勤管理データ

管理項目 ▶ 有給休暇、休日出勤、振替休日、出張、添乗、夏休みなども細かく管理。

A screenshot of a spreadsheet used for managing attendance data. The columns include dates, employee names, and various attendance categories such as paid leave, weekend work, substitute days, business trips, and summer vacation. The data is organized in a grid format with multiple rows and columns.

2 各人のタイムカード、時間外勤務届、出退勤届をチェックし、各管理データ表に入力

社員		出勤		時間外		時間外手当		出退勤	
社員番号	氏名	出勤日数	出勤時間	時間外時間	時間外単価	時間外手当	時間外手当	出退勤日数	出退勤時間
1001	山田 太郎	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005
1002	田中 次郎	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005
1003	佐藤 三郎	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005
1004	鈴木 四郎	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005
1005	高橋 五郎	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005
1006	渡辺 六郎	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005
1007	中村 七郎	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005
1008	山本 八郎	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005
1009	佐々木 九郎	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005
1010	松本 十郎	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005
1011	石川 十一郎	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005
1012	清水 十二郎	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005
1013	山崎 十三郎	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005
1014	高木 十四郎	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005
1015	橋本 十五郎	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005
1016	中野 十六郎	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005
1017	山内 十七郎	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005
1018	水野 十八郎	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005
1019	山本 十九郎	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005
1020	松本 二十郎	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005
1021	石川 二十一郎	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005
1022	清水 二十二郎	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005
1023	山崎 二十三郎	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005
1024	高木 二十四郎	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005
1025	橋本 二十五郎	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005
1026	中野 二十六郎	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005
1027	山内 二十七郎	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005
1028	水野 二十八郎	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005
1029	山本 二十九郎	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005
1030	松本 三十郎	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005
1031	石川 三十一郎	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005
1032	清水 三十二郎	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005
1033	山崎 三十三郎	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005
1034	高木 三十四郎	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005
1035	橋本 三十五郎	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005
1036	中野 三十六郎	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005
1037	山内 三十七郎	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005
1038	水野 三十八郎	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005
1039	山本 三十九郎	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005
1040	松本 四十郎	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005
1041	石川 四十一郎	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005
1042	清水 四十二郎	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005
1043	山崎 四十三郎	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005
1044	高木 四十四郎	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005
1045	橋本 四十五郎	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005
1046	中野 四十六郎	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005
1047	山内 四十七郎	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005
1048	水野 四十八郎	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005
1049	山本 四十九郎	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005
1050	松本 五十郎	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005

3 社内ネットワーク上で管理データを公開

- 時間外手当支給対象者については、タイムカード(出勤簿)と時間外勤務届に基づき集計し、計算のデータとしている。
- 役職者など時間外手当支給対象者以外も、タイムカードのデータを入力し、各人ごとのデータを見ることができる。
- 有給休暇、振替休日、代休についても時間外労働とは別の表で、取得日数や取得日、出張や添乗(発生する仕事)の状況と合わせて月ごとの表で見られる。本人がしっかり表を見れば計画的に休暇を取得できる。

【実績】

時間外労働について削減効果が表れている。

- 2005年度時間外労働 合計298.8時間
- 2006年度時間外労働 合計272.3時間

取り組みを継続してきたことで、年間労働時間に対する意識や管理能力が高まり、削減へとつながっている。

